

### 理事からのメッセージ

江差町には、北海道立江差病院をはじめ、道南勤労者医療協会江差診療所、医療法人社団恵愛会佐々木病院、医療法人雄心会江差脳神経外科クリニックの4医療機関があります。

近隣町と同様に、当町でも全道を上回るスピードで人口減少と高齢化が急速に進行している状況となっており、各医療機関においても医療人材の確保に苦慮しており、特に看護職員の確保が大きな課題となっております。

このため、限られた医療資源を有効に活用しながら、互いに分担・連携を行うことが求められております。

当町といたしましても、民間医療機関に対する地域医療連携システム運営への補助による支援、医療と介護の連携事業の推進や、医療人材の確保対策として道立江差病院に勤務する医師への医療研究に必要な資金の貸与、また、看護職員等修学資金貸付制度については、本年度、貸付限度額を増額した制度としております。


今後も住み慣れた地域で継続して必要な医療・介護サービスが受けられる体制の構築に努めてまいりたいと考えております。



江差町長 照井 誉之介

### 江差町の取組について～江差町看護職員養成修学資金貸付制度～

江差町では、看護師等を目指す学生等を対象とする『看護職員養成修学資金貸付制度』の貸付金額を令和6年度から増額し、より魅力ある制度にすることで、看護師等の確保に努めています。

制度目的	将来において、江差町内の医療機関に看護師又は助産師として従事しようとする人に対して、その修学に必要な資金を貸し付けすることで、町内医療機関における看護職員の確保及び医療環境の充実を図る。				
貸付対象	文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した看護職員養成所に在学又は入学が決定しており、将来江差町に住民登録のうえ居住し、江差町内の医療機関に看護職員として従事しようとする人に対し貸し付けする。				
貸付金額等	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸付金額：月額100,000円以内（毎年、予算の範囲内で貸付）</li> <li>貸付期間：学校等に在学する期間中（正規の修学年数、ただし、留年期間中は貸し付けを停止し、返還を猶予）</li> <li>利子：無利子</li> <li>道の『北海道看護職員修学資金貸付金（一般・特別）』との併用可能</li> </ul> 				
返還免除	学校等を卒業した日から1年を経過する日までに当該免許を取得し、江差町に住民登録のうえ居住し、町内医療機関において看護業務に従事した期間が引き続き5年に達したときは返還の債務を免除します。				
	対象病院（例）	区分	貸付額（円）		返還免除要件（従事期間）
	道立江差病院 ※	江差町	月額	年間	5年間
		道（一般）	36,000	432,000	
道（特別）		20,000	240,000		
	合計	156,000	1,872,000		
※ その他の対象病院など、道の制度については、次のHP（北海道保健福祉部）で御確認ください。 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/iyk/syugakusikin.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/iyk/syugakusikin.html</a>					

◆ 江差町看護職員養成修学資金貸付制度については、次のHPでも確認できます。  
<https://www.hokkaido-esashi.jp/modules/lifeinfo/content0127.html>

## 地域公開講座「医療・介護のつどい～持続可能な医療と介護をつくろうか～」

住民の皆様へ地域医療に対する理解を深めてもらうため、実行委員会・江差町との共催により、「医療・介護のつどい」を開催しました（令和6年2月18日、江差町文化会館大ホール）。

江差町はもとより、町外からも110名の住民の皆様にご参加いただき、持続可能な医療と介護を実現していくため、パネリストによるシンポジウムの後、住民の皆様によるグループワークを行いました。グループワークでは、地域や人とのつながりが大事など、様々なお声をいただきました。



医療・介護の  
つどい  
開催の様子



## 地域医療を担う医師確保の取組について

- 南檜山メディカルネットワークでは、将来的に、南檜山圏域の地域医療を担う人材の確保に繋がるよう、札幌医科大学地域医療研究教育センターと連携し、道立江差病院で実習を行っている初期臨床研修医や医学生を対象に、実習期間のうち1日を「地域体験研修」と位置づけ、各町が順番に受入を行っています。昨年度は、24名の医学生と6名の研修医の皆様に参加し、南檜山地域の歴史的・文化的施設などを見学していただきました。
- また、南檜山メディカルネットワークの理事である各町長の皆様、札幌医科大学を訪問し、同大学の理事長等との間で、地域医療確保のための医師派遣等をテーマとする意見交換会を実施しました。

### 地域体験研修 in 江差 (研修生の声)

医療は通り一遍なものではないので、その土地その土地で暮らしている人々を知ることは大事ですが、触れ合う機会がなかなかないので、そのような機会を作ってください、とても良い経験ができました。

(札幌医科大学医学部5学年 黒田 睦喜さん)



～ 令和5年12月21日 江差町 開陽丸にて ～  
(右) 函館五稜郭病院 初期研修医 長谷部先生  
(左) 札幌医科大学医学部 5学年 黒田 睦喜 さん

### 札幌医科大学との意見交換会 (令和6年2月7日)

